

# 「マッスルスーツ」 従来比3割軽く

## イノフィス、試験販売

東京理科大学発ベンチャーのイノフィス(東京・新宿)は筋力補助装置「マッスルスーツ」の軽量化モデルを25日から試験販売すると発表した。

人工筋肉のついた装置を背負い、重い物を持つ際、に腰にかかる負担を半分、に減らす。装置全体で従来品に比べて約3割の軽量化に成功した。企業向けに税別60万円で販売する。2015年度中に1千台の出荷を目指す。

軽量化モデルの本体は4・2キログラムで、人工筋肉を4本から2本に減らした。最大補助力は23キログラムで、従来品の3分の2程度に抑えた。高齢者や女性の労働者が増えており、「もっと軽くしてほしい」「補助力が強すぎるといった要望に応えた。販売のほか、リースやレンタルも検討する。マッスルスーツの標準モデルは介護・福祉の現場や工場などに約800台が出荷された。15年3月に製造元の菊池製作所が、福島県南相馬市に工場を設け、秋から本格的な生産を始める。今後、海外展開も視野に入れており、15年度中に標準と軽量化モデルを合わせて2千〜3千台の出荷を見込む。